

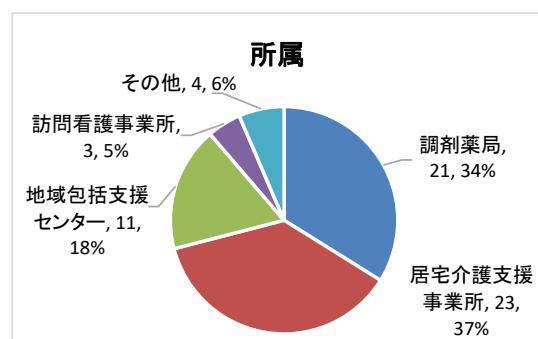
## 令和7年度 薬剤師と介護事業所との合同研修会

令和7年10月28日(火) 19:00~20:30 会場:にこ♡ふる

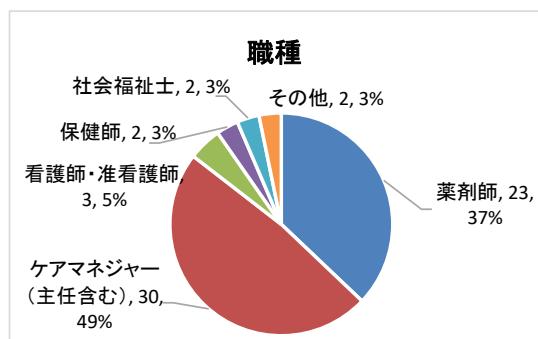
【アンケート結果】

アンケート回収率: 89%

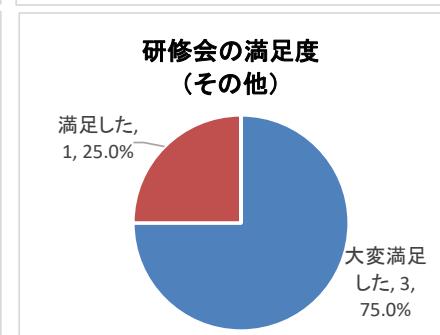
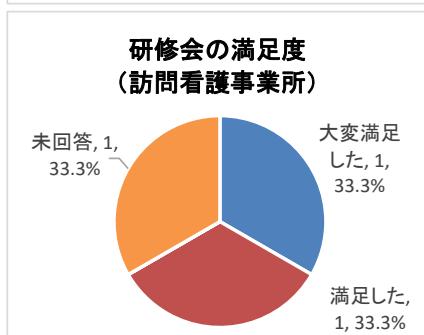
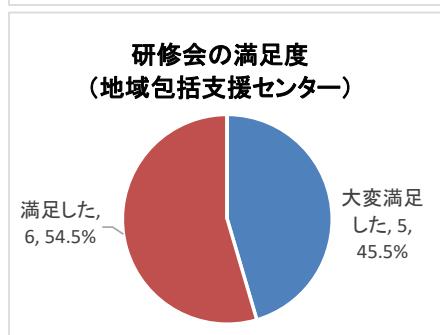
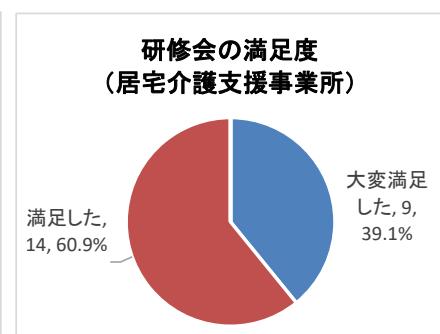
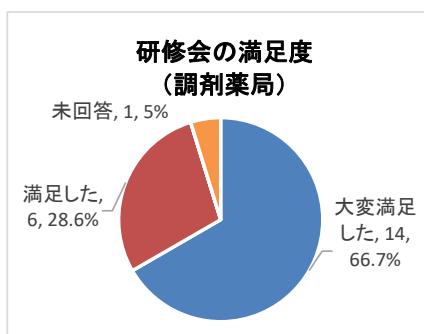
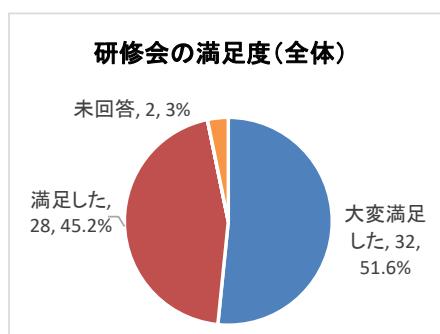
1.所属	参加人数	アンケート回収
調剤薬局	23	21
居宅介護支援事業所	23	23
地域包括支援センター	12	11
訪問看護事業所	3	3
その他	9	4
	70	62



2.職種	参加人数	アンケート回収
薬剤師	25	23
ケアマネジャー(主任含む)	30	30
看護師・准看護師	4	3
保健師	3	2
社会福祉士	2	2
その他	6	2
	70	62



3.研修会の満足度	大変満足した	満足した	どちらともいえない	やや不満足	不満足	未回答
調剤薬局	14	6	0	0	0	1
居宅介護支援事業所	9	14	0	0	0	0
地域包括支援センター	5	6	0	0	0	0
訪問看護事業所	1	1	0	0	0	1
その他	3	1	0	0	0	0
	32	28	0	0	0	2



### 3.研修会の満足度の理由

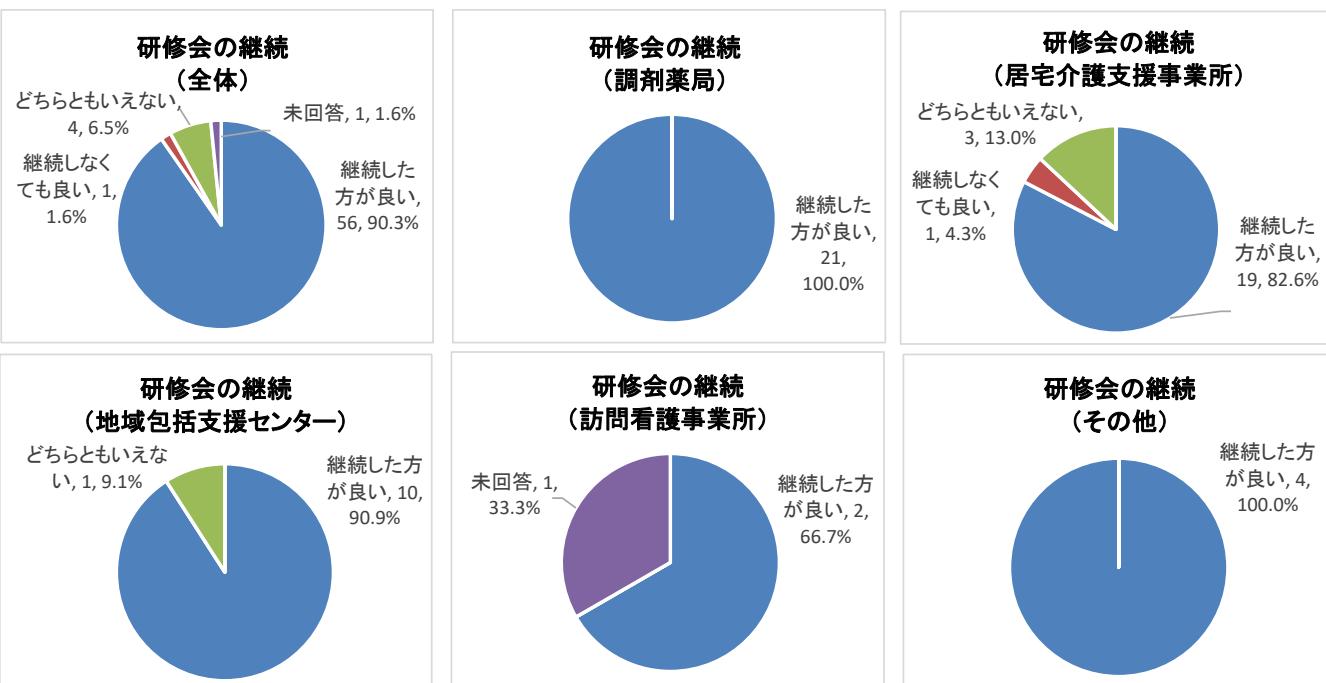
調剤薬局	大変満足した	多職種での話し合いに参加るのが初めてでした。非常に参考になりました。
		普段話をしない方との意見を交換できたため。
		薬剤師にできること、薬剤師にもらいたいことなど、多職種の方と話し合うことで、再認識することや気づきをいただけた。
		十分な意見交換と情報共有ができた。
		地域連携の重要性を改めて再認識できた。
	満足した	本日得た考えを業務へ還元できるから。
		ケアマネ、訪看の目線を感じることができた。
		ケアマネさんたちの疑問に対してお役立ちできた。こちらの悩みにもいいアイディアも教えていただけた。
居宅介護支援事業所	大変満足した	直接薬剤師のお話が聞けたため。 × 3
		薬について今まで疑問に思ったことを質問できた。
		薬剤師の方々との情報交換ができ、今後の連携につながると感じた。
		明日からすぐ紹介できる事例を教えてもらった。金額など。
		普段聞くことのできないことに気づくことができました。先生の意見もとても良かった。
	満足した	新たな情報を得られた。
		忌憚のない意見交換ができました。
		意見交換の内容が役に立つものだった。
		普段感じている疑問や困りごとを聞くことができた。
		気軽に相談、話し合いができるよかったです。
地域包括支援センター	大変満足した	薬剤師の方となかなか情報交換することができないので、とても良い機会だった。他の職種の方々とも同様で意見交換できただけで良かった。
		情報共有の大切さがわかった。
		薬剤師さん達の薬に対する考え方がよくわかった。
	満足した	とても勉強になりました。
		お互いに聞きたいことが聞けた。教えていただけた。
		相談、支援、対応したケースについて、直接薬剤師さんに確認ができるよかったです。今後、情報提供していく際、活用していきたい。
		わからないこと、知りたいことを聞きやすかったです。
		情報共有について考えていることを共有することができた。よかったです。
訪問看護事業所	し満たし た足 た足 た足	薬剤師さんが実際に知りたい情報は何か？具体的なお話を聞くことができた。
		テーマにそって話をし、どうしたら良いのか考える機会になりました。
その他	大 し 変 た 満 足	薬局さんができること、してくれることをたくさん知ることができた。
		普段感じている疑問、悩みを薬剤師の方と話すことができた。
		他の職種の方からでしかわからないような悩みや、その悩みに対する解決策を考えることができた。
		お互いに患者さんに違う立場で接している中での情報交換、話し合いは良い医療の推進には必要。

#### 4.研修会に参加して「気づき」は?

調 剤 薬 局	情報共有の大切さ × 2
	できるだけ速やかに情報を共有することで、円滑なサービス提供につなげることができる。
	Net4U等の多職種連携手段の活用
	色々な気づきがあり、お互いに欲しい情報は何か(ケースバイケースではあるが) その情報を共有するにはFAX、Net4U、いろいろ使っていきたいと思います。
	他の職種さんから薬について相談・疑問が多かった。
	薬剤師以外の医療関係者がどのように悩んでいるかがわかった。
	互いにできることを知る必要がある。
	薬剤師の便利さが知られていなかった。
	他職種さんからだと、薬局でできることなのかわからないといった事柄が思ったよりある、と学んだ。
	まだ、ケアマネさんが薬局を頼っていいことを知らず、困っていることを知った。
	意外と質問すること、されることをためらって、わからないでいることが多い。
	ケアマネ、訪看さんは現場の問題は気づけているが相談を誰にしてよいのかわかつていない。
	どんなことに困っているのか(多院所受診、薬のまとめができない)
	ケアマネジャーさんが患者さんの飲み忘れに気づいても、薬局に相談してよいか迷っていたとのこと。薬局で欲しい情報でもあるので連携したい。
居 宅 介 護 支 援 事 業 所	手帳に名刺をはさむというのが良かった。どこの薬局にどこまで相談していいのかとケアマネさんが思われていたので、頼られる薬局、薬剤師になりたいと思う。
	服薬できているかの確認が難しい。
	多職種連携の大切さ × 3
	情報共有の大切さ、情報共有は連携の基礎
	薬剤師、ケアマネそれぞれが考えている連携のあり方がわかった。
	薬剤師さんも実際患者さんが飲めているのか心配されており、情報が入ってこないのかと感じた。「連携」は改めて大事だと思いました。
	Net4Uで薬剤師と連携できること。Net4Uが情報を共有する一番良いツール。
	薬剤師にも入退院連絡があった方がよいとわかった。
	飲ませ方に注意する薬もあるため薬局へ相談。
	薬についてわからぬことがあったら、まず薬剤師に相談してみる。
	担当の利用者様は正しく内服されているのか、ご家族はきちんと管理しているのかなかなか聞けないですが改めて確認が必要だと感じた。
	薬剤師さんも情報を求めていたのだと思った。
	薬剤師に頼るだけでなく、関りを持つ。
	他職種の抱えている問題点に気づいた。
	薬局の窓口で薬剤師さんが高齢者に「ケアマネがついているか」と聞きにくいということを知りました。 薬は1週間分くらい余分に残っていた方が良いらしい。
	薬剤師の立場
	24時間連絡可の薬局もあるということ。
	災害時の備えについて
	災害時の服薬支援について日頃から取り組むことや、必ず持参した方がいいものなど確認できた。
	三原先生の「薬剤師よ勇気を持て」が一番いい言葉でした。優秀な方々です。

地域包括支援センター	情報共有の仕方。情報共有の大切さを改めて見直すとともにどの分野でも大切と感じました。
	薬の相談はまず薬局さんに。遠慮しないで相談する。
	退院前に薬局に相談することでスムーズ。
	薬剤師さん、頼りになる！
	薬局へもっとケアマネであることを伝えて、共有していきたい。お薬手帳など大事。
	吸入器の対応、現場でも薬剤師の間でも課題だったんだなーということ。
訪問看護事業所	薬剤師さんたちの苦労や悩みなど、仕事の内容や、こんなことまでしていただけるのかということを知ることができました。
	より多職種連携の必要性を実感しました。
	薬剤師の方も患者さんの状況を知りたい。関わっている支援者達も伝えたい。
その他	介護保険により、薬剤師さんの介入を取り入れていくことの大切さを知った。
	多職種の方々と話をする機会があり有効だった。
	薬剤師から見えている情報はほんの一部であること。
	在宅の現場では薬の問題が大きい。
	薬剤師の在宅服薬指導件数が、このような研修会によって増えたのは”連携”的効果だと思う。

5.研修会の継続	継続した方が良い	継続しなくても良い	どちらともいえない	未回答
調剤薬局	21	0	0	0
居宅介護支援事業所	19	1	3	0
地域包括支援センター	10	0	1	0
訪問看護事業所	2	0	0	1
その他	4	0	0	0
	56	1	4	1



## 5.研修会の継続の理由

調剤薬局	継続した方が良い	貴重な情報交換の場だと思いました。
		お互いの今の話をできる。
		情報共有にもなる。
		コミュニケーションの場として有効。
		お互いの立場で何ができるのかが共有できて良いと思います。
		薬剤師、介護事業所が顔をあわせて話をするだけでも今後の連携につながると思うため。
		それぞれの職種の考えを聞ける。
		自分ができること、相手がしてほしいことを知れる。
		前回のディスカッションで解決しなかったことや新たな問題について議論できたらと思います。
		これからの地域医療の向進に大きく寄与するから。
居宅介護支援事業所	継続した方が良い	初めてこのような会に参加しましたが、後輩たちにも参加してほしいくらい実りのある会でした。
		ぜひ！
		他職種との交流会の機会がなかなかないので、継続してもらいたい。
		連携するためには必要。
		お互いの職種のできることを確認できるため。
		顔の見える関係は必要。
		ICTが進んでいますが、顔を見て話を出来ることに意味があると思います。
		日頃の疑問を直接薬剤師さんに聞くことができる。
		いろいろな相談ができること、いろいろな専門職の意見を聞けるので。
		その時、その時で知りたいこと、困っていること等がやや違うので。
	もどいちえらなど	事業所内での意見交換では同じ職種で意見が偏る。多職種ならでは。
		医療系のことを学ぶことができるのがありがたい。
		行動範囲の拡大ができる。利用者に対するケアの幅が広がる。
	もどいちえらなど	特定の職種だけでなく、多職種での研修会もいいかと思います。
		学びにはなるが時期的に…。
地域包括支援センター	継続した方が良い	顔の見える関係性は大切。顔の見える関係が築けたと思う。など×3 薬剤師の方と顔を合わせて話をする良い機会になりました。お互いの業務のことを知る機会になると思います。 みんなが参加している訳ではないので、よい機会になるので続けてほしい。 その都度様々なケースが出てくるので。新しい情報も得たい。 服薬ロボなど今後はロボット、ICT、AIが介入してくるのではないか。 薬剤師さんが「現場がわからない」と切々と話していたので継続した方が良いのかな、と思った。
訪問所事問業看	良た継 りがし	多職種で関わることで、学びや、普段の悩みを解決することができる。
その他	良た継 りがし	患者さんのためになると感じた。

## 6.研修会に参加して取り組んでみようと思ったこと

調 剤 薬 局	情報提供、情報共有、積極的な情報共有。など×5  多職種連携をもっと意識する。  まずは担当患者のケアマネさん、訪看さんと連絡を取ってみる。  気になる患者さんがいた時は、ケアマネジャーさんにまずは連絡を取ってみたいと思いました。  コミュニケーションを取る。  Net4Uの活用 ×2  薬剤師の視点から情報を発信していくこと。  勇気を出して医師に提案！  ケアマネさんと利用者宅への同行  医師への情報提供(残薬、服薬管理など)  お薬手帳のさらなる活用、耳の悪い人のケータイのスピーカーモードの利用  本当に薬が飲めているかや挙動で何か感じたときにケアマネさんがいるかを気にかけ在宅へ発展させたい。
	薬剤師、薬局への相談 ×5  多科受診で薬いっぱい処方の方の相談をしてみようと思う。  薬が飲めない方、薬を見直し、回数を減らしたり相談していきたい。薬剤師さんへ積極的に相談する。  お薬手帳に名刺をはさむこと ×4  お薬手帳の活用  Net4Uの活用 ×2  遠方でも実際、訪問薬剤師が来てくれると思ったので、必要時対応したい。  服薬支援ロボ
	薬剤師、薬局への相談 ×6  お薬手帳に名刺を入れること(担当している方)  Net4Uをのぞいてみよう！  薬剤師さんを研修会等の講師としてお招きする。住民に薬剤師さんのPRをしたい。  予防教室で地域の中に予算があれば薬剤師さんを呼んでみようと思う。
	お薬手帳の活用。飲み込みはどうか、飲み忘れしやすい、などメモへ情報提供。  退院前に、かかりつけ薬局さんとのやりとりをすることの大切さを学んだ。
	機会があったらケア会議に出てみたい。  ドラッグストアに薬を買いかに来る客に、常日頃から「お薬手帳がかさばるなら薬局でくれる薬情ペーパーを持参して」と言っています。“基準”がないと選択できることと、もし出先で救急搬送が必要なことが起きて、意識がない時は、手帳等の情報で余計な検査・採血・画像診断せずに治療ができ、命を救うこともあると言っているのを続ける。

7.次回の研修会を企画するにあたり、希望のテーマや話し合いたいことの希望、やり方などのアイディア

調 剤 薬 局	できること、やってほしいことをもっと共有してほしい。
	訪看さんからも悩みを聞いてみたい。
	認知症の方の対応、もっと認知への理解
	お薬(エンシュアとか)試飲会
事護居 業支宅 所援介	お薬手帳の使いやすさを鶴岡市で統一することはできないのか。お薬情報がお薬手帳に載せられればいいのに。
タセ 括地 支援 域包 含	今回のようなやり方で良いと思います。
	認知症の方の服薬支援について。(答えが出なかった…)

8.その他、研修会についての要望など

調 剤 薬 局	グループワークを行うには時間が少なく感じた。
	薬剤師のバイタルチェック研修会(医師や看護師に教わる)
事護居 業支宅 所援介	天候が悪くなる時期はやめてほしいです。役員の方お疲れさまです。
支地 タ 援域 セ 包 括 含	24時間薬局が電話相談可能と知らなかった。勉強させていただきました。
	ヘルパー事業所の参加がなく残念でした。利用者さんの生活をよく把握できている職種なので、参加して意見してほしいです。